総長挨拶



はじめに

東北大学は、1907 年の建学以来、118 年にわたって、「研究第一主義」の伝統、「門戸開放」の理念、及び「実学尊重」の精神のもと、多くの指導的人材を輩出するとともに、世界的な研究成果を挙げて歴史を築いてきました。

周知のように、本学は 2024 年の 12 月に「国際卓越研究大学」の第一号として認定・認可を受けました。日本を先導する研究大学として栄誉ある役割と大きな責務を引き受け、本学が、社会の負託に応えて日本を牽引し、世界のリーディング・ユニバーシティとして大きく発展していくこと、そのために持てる力の全てを尽くすことが、我々東北大学に課された使命と考えています。

国際卓越研究大学について

「国際卓越研究大学制度」とは、国際的に卓越した研究の展開及び経済社会に変化をもたらす研究成果の活用が相当程度見込まれる大学を認定する制度です。当該大学が作成する国際卓越研究大学研究等体制強化計画に対して、国が設立した 10 兆円規模の「大学ファンド（基金）」から体制強化促進のため、助成するものです。

これにより、国際卓越研究大学における研究環境の充実、優秀な人材の獲得を促し、知的価値創造の好循環を形成することで、我が国の学術研究ネットワークを牽引し、諸外国のトップレベルの研究大学に伍する研究大学の実現を図っていくことが期待されています。

本学では、国際卓越研究大学に向けた計画において、3つの Commitments（公約）「Impact; 未来を変革する社会価値の創造」、「Talent; 多彩な才能を開花させ未来を拓く」、「Change; 変革と挑戦を加速するガバナンス」を掲げ、全方位の国際化などの6つの目標を達成するための 19 の戦略を策定しています。

未来を変革する社会価値の創造（Commitment for Impact）

Commitment for Impact は、研究の卓越性を妥協なく追求することを通して知の創造と社会価値の創出を宣言したものであり、本学の「研究第一主義」、「実学尊重」の建学の理念の表明でもあります。本学の構成員は、特に、東日本大震災の発災当初から現在に至るまでの困難な課題解決への貢献を通して、総合研究大学としての社会的使命を強く自覚し、社会と共創してきました。この経験は、本学が予測困難な世界の中で社会価値を生み出すための土台となっています。

研究力の向上のため、世界から優秀な研究者を獲得するため国際的に競争力のある処遇を提供するとともに、研究者が独立した PI（Principal Investigator）として活動できるフラットで機動的な研究体制を構築します。ユニバーシティ･リサーチ･アドミニストレーター（URA）などの高度専門職スタッフを増員し、研究支援体制を抜本的に拡充することで、研究者が自分の追求したい研究に集中できる環境を整備します。研究者の多様で卓越した研究が東北大学の価値の源泉であり、そのための環境を整えることが大学の役割だと考えています。

また社会価値の創造のため、我が国初の官民地域パートナーシップにより本学キャンパスに設置・稼働した 3GeV 高輝度放射光施設 NanoTerasu（ナノテラス）をはじめとする世界最先端のファシリティを駆使して、本学に拠点を構える企業と連携した共創研究所制度などを最大限活用しながら産学共創を推進します。そして本学が STI（Science,Technology and Innovation）のプラットフォームとなり、産学官金のアクターが結集する本学独自のサイエンスパーク事業を展開することで、社会との共創を深め、イノベーション・エコシステムを創造します。また大学発スタートアップを拡大し、大学の知を速やかに実社会に還元し、人材の集積や新たな研究開発などイノベーション・エコシステムの成長を促進していきます。

多彩な才能を開花させ未来を拓く（Commitment for Talent）

Commitment for Talent は、多彩な才能を惹きつけ、開花させ、未来に貢献することの公約です。東北大学は、1913 年に日本の大学として初めて女子学生の入学を認め、我が国の高等教育の既成概念を打ち破り、才能ある人材を求めて「門戸開放」を先導した歴史があります。人への投資を拡大し、世界を変える高度な人材を生み出していく、多様な人的資本こそ我々にとっての生命線であると考えています。

国際性・開放性を基軸とする大学院変革として、全学の大学院のマネジメントを一元化する高等大学院を設置します。社会ニーズや学術の進化への対応力を高め、学生自らが学びをデザインする分野横断型の挑戦的な学位プログラムによって教育を革新し、国際的価値創造を牽引できる人材を育成します。また、研究大学における学部教育の在り方として、国際対応力の涵養に主眼を置いた全学教育を展開するゲートウェイカレッジを新設します。日本人学生と留学生が共に学ぶ国際共修環境やトップスクールへの留学プログラムなどを提供し、混迷する世界の中で未来を切り開くことができる能力に主眼を置いた教育を実施します。

学生諸君が内外の多彩な人と出会い、刺激を受ける多様性のあるキャンパスで、自己の可能性を探求し、自己成長が実感できる教育研究環境を整備していきたいと考えています。

変革と挑戦を加速するガバナンス（Commitment for Change）

Commitment for Change は、我々が変わること、「変革」に対する決意を宣言するものです。今回の計画は、特定の研究領域の振興に軸足を置くものではなく、真に世界と伍する大学として成長軌道を描くための「システム改革」に主眼があります。

世界のトップスクールは、従来型の高等教育機関の枠組みを超えた経営体としての機能を拡大し、顕著な国際競争力を発揮しています。全方位の国際化を「包括的国際化担当役員（CGO）」を中心に推進し、国際対応力を高め、よりグローバル志向に行動する組織へと変革します。また、学外プロフェッショナル人材や海外有識者などの知見を受け入れることにより、大学経営の高度化を図りつつ、研究成果の社会還元、価値創造などを通じ、東北大学の社会及び世界におけるプレゼンスを高めていきます。

最後に

東北大学は国際卓越研究大学の第一号として、これまでに重ねてきた歴史と国からの支援を原動力に、大学改革を加速させ、卓越した研究、人材育成そして社会との共創を通じて、未来を切り拓いていきます。この挑戦は、本学のみならず、日本の未来にとっても重要な意味を持つものです。この重責を果たすためには、ステークホルダーの皆さまとの強固な対話と連携が不可欠であると考えております。皆さまからのご期待を原動力に、共に未来を創造してまいりたいと存じます。

今後とも、東北大学の挑戦にご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025 年 9 月
東北大学総長　冨　永　悌　二